

日月会 プレ・フォロ 第8回 議事録

執行部会と合同会議

日時 2011.03.27(Sat.)	時間 16:00-17:00	場所 武蔵野美術大学吉祥寺校食堂	記録 寺阪 桂子
出席者(敬称略・順不同) プレ・フォロメンバー：松家、佐奈、寺澤、橘、吉村、酒向、寺阪 執行部メンバー：更田、岩下、井上、上田、林、小倉、富重、小池、朝比奈、黒田、小倉、関			
陪席：なし			
配布資料			

議事録	備考
1. 新役員の紹介 <ul style="list-style-type: none">・ 副会長：朝比奈ゆりさん（18期）、小池ひろのさん（20期）・ 会計役：内海聡さん（34期）	

2. 現在未定のメンバーについて <ul style="list-style-type: none">・ 宮下ゼミ：33期松山浩之さんに小野さんがメールにて打診中。・ 源ゼミ：22期の向田良文さんから了承済み。・ 立花ゼミ：大西さんに井上・更田よりメールなどで打診中。	
---	--

<p>3. 連絡網整備の報告と今後の展望</p> <p>新たな各期の名簿を収集(第1回目の締切:20100921)してきたことについて</p> <p>1) 名簿収集報告(会長報告:学部卒名簿 2010.11.1 現在)</p> <p>収集できた期:2, 4, 16, 17, 18, 20, 21, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 31, 32, 33, 34, 36, 40 以上 19 期</p> <p>ただし、上記のうち校友会への情報アップならびに日月会メールマガジンへの可否の確認ができていない期が 2, 4, 17 期</p> <p>2011.03.01 発行の会報「Forma-Foro vol. 11」の戻りが現在 10 部程度であり、去年に比べて 90 部(去年の戻り部数は 97 部)ほど増えてしまった。原因を追跡調査する必要がある。</p>	
<p>2) 日月会メールマガジン登録者数報告</p> <p>(執行部事務局報告:2010.12.11 現在)</p> <p>メールマガジン初期登録(99:下記に含まず)、2 期(18)、4 期(34)、5~15 期(0)、16~20 期(61)、21~25 期(122)、26~30 期(109)、31~35 期(81)、36~40 期(45)、ムサビ学生(16)、その他一般(67)、その他、学生(26)、合計 678</p> <p>3) 今後の見通しと対策について</p> <p>引続き、5 期ごとの連絡担当者から各期の幹事さんへ、名簿整備のお願いを呼びかけてもらう。</p> <p>また、今回の震災被災地域の会員については、安否情報もお寄せいただくよう働きかける。</p>	
<p>4. プレ・フォローを会則に定義する件</p> <p>1) 更田会長提案の会則・規則改定案による:</p> <p>現在施行されている会則(2009.11.1 施行)の作成にあたっては、機能していなかった「代表幹事会」に関する項目を全て削除したが、その際もいずれこれを復帰させることを目標としており、当会議—プレ・フォローを「日月会の会議」として定義してはどうか。</p>	<p>再度、会長が会則改訂案をプレ・フォローに提示して、次回総会において承認されることを目指すものとする。</p>

<p>→プレ・フォロの定義については会則第5章において、プレ・フォロの主旨と構成についてのみを記述し、その他の章において細かい記載はしない方が良い。</p> <p>2) 現在プレ・フォロでの会議内容を執行部会へ報告を行っているのは更田会長であるが、今後会長がプレ・フォロの代表を兼ねるのは望ましくないのかもしれない。プレ・フォロ代表はプレ・フォロメンバーの中から選出して、その代表から報告すべきなのではないか。但し、執行部会とプレ・フォロの二つの組織が別々に活動することがないように、構成メンバーには会長も含めるものとする。</p>	<p>これまでも、プレ・フォロ議事録はHPに掲載しており、議事内容は公開している。</p> <p>特に説明を要する事項については、代表者から執行部へ伝えるようにする。</p> <p>議事録において決議だけでなく、経過もよりわかるよう盛り込んで記述する。</p>
--	--

<p>5. 東北関東大震災に対する日月会の対応について</p> <p>1) 先の執行部会での話し合い及び校友会の対応を元に話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 校友会は被災地の県の支部長／事務局長に直に連絡を取ったが、状況がバラバラなので1ヶ月を目安に安否情報を確認していく。 ▪ 日月会は校友会からの情報を元に安否確認をしていく。 ▪ 「復興フォロ」の立ち上げの提案。 ▪ 保坂先生のフォルマ・フォロセミナー（4/23）で募金の協力をお願いする。 <p>→集まった募金は被災した学生(家族も含む)に限り「お見舞金」として送るものとする。もしも十分にいきわたらないくらいの金額しか集まらなかった場合には、日本赤十字へ義援金として送るなどの案も検討する。</p>	<p>「復興フォロ」の立上げとその活動内容については、引続きプレ・フォロでも協議しながら、日月会という立場で長期的に活動していくための指針作りが必要である。</p>
--	--

<p>2) 復興に向けて現地視察の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の機関と連携して行う案。 ・ 但し独自での活動でかえって迷惑にならないように、校友会の企画に便乗する程度が良いのではないか。 <p>3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が入学金免除の対応をとった学生に対しては、日月会会費も免除にするべきではないか。 ・ 阪神淡路大震災の時には、状況が落ち着いた頃に及部名誉教授を中心にして始まった、神戸の永田町で子ども向けのワークショップを行った例がある。 ・ 今回も四美大共同での企画などが持ち上がっている。 	<p>その後校友会が地域フォーラム「アート&デザイン 2005 ひょうご」でワークショップを開催した。</p> <p>http://blog.goo.ne.jp/msb-hyogo/c/00db0a004cb49355c01e38a52d58ff0a</p>
---	--

<p>6. その他、執行部に求めることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 15 期の木岡氏が発起人となり、歴史建築を研鑽するためのフォロ(歴フォロ)を立ち上げる旨の報告有り。 <p>→ プレ・フォロも立上げに協力支援する。</p>	
---	--